

ひとり親家庭アンケート項目 新旧対照表

【資料5 - 2】

平成30年度の調査項目(案)		前回との主な変更内容や、質問の意図	前回(平成25年度)の調査項目	
<b>ご家族の状況、生活について</b>			<b>1. ご家族の状況、生活について</b>	
問1	性別	回答項目に「3. 答えたくない」を追加 (25年度調査の回答率0.1%)	問1	性別
問2	年齢		問2	年齢
問3	居住地域		問3	居住地域
問4	居住年数		問4	居住年数
問5	居住開始の時期(ひとり親になる前/後) (世田谷区が地元かどうか(問3で回答した地域に住み始めた時期))	情報として不足しているため、「居住開始の時期」をより細かく聞く設問に変更。	問5	居住開始の時期(ひとり親になる前/後)
問6	同居している家族		問6	同居している家族
問7	近居の親族	【削除】「近くに住んでいる」ことが「頼りになる」とイコールになるわけではないため、調査不要と判断。	問7	近居の親族
問8 問20へ	子どもの性別、同居・別居、年齢、学齢 (解答欄は第5子第4子+自由記入)、 出席状況 学校の種類	子育てについての項目にまとめ、問20に移動する。	問8	子どもの性別、年齢、学齢(解答欄は第5子+自由記入)
問9 問7	住居(持家、賃貸など)	前回の回答で、持ち家の方が4割いたことから、持ち家の方は「問8」へと、持ち家以外の方は「問7-1」へと選択項目を指示するように変更した。  「子どもの生活実態調査(保護者向け)」 問10と比較するため、同内容の回答項目 「6. 給与住宅(社宅・公務員住宅)」などを追加。	問9	住居(持家、賃貸など)
	問7で「3、4、5、6、7」と回答した人			
問7-1	住居を選択する際に優先すること	【新規】住宅施策に関する設問を追加。 問7-1, 7-2で区の住宅セーフティネットを推進するため、賃貸住宅等の入居について、課題を明らかにしていく。		
問7-2	住居を借りる際に困っていること(困ったこと)			
問8	今後どのような居住支援のサービスが必要か	【新規】住宅施策に関する設問を追加。 住居を選択する際の選択肢に、「3. 立地条件が良い」「5. 親等の介護のため(ダブルケア)」、「8. 以前住んでいた時の良い体験や思い出がある」「10. 家賃が安い」「11. その他」を追加。		
問10 問8-1	毎月の住居費		問10	毎月の住居費
問11 問9	ひとり親になってからの年数		問11	ひとり親になってからの年数
問12 問10	ひとり親になったときの年齢		問12	ひとり親になったときの年齢
問13 問1	ひとり親になったときの、末子の年齢		問13	ひとり親になったときの、末子の年齢
問14 問12	ひとり親になった理由		問14	ひとり親になった理由
	「2. 離婚」「3. 未婚」と回答した人に			「2. 離婚」「3. 未婚」と回答した人に
問14-1 問12-1	子どもの親(相手方)から養育費をもらっているか	養育費の設問については、平成28年度より養育費相談会の実施やホームページに法務省の手引きを掲載するなど周知を強化していることから、経年変化を見ていく。  また、面会交流についても、国や都と比較するとともに、現状を把握するため実施する。	問14-1	子どもの親(相手方)から養育費をもらっているか
	「1. はい」と回答した人に			「1. はい」と回答した人に
問14-1-1 問12-1-1	養育費の月額		問14-1-1	養育費の月額
問14-1-2 問12-1-2	養育費に関する取り決めの有無/方法(調停、口頭など)		問14-1-2	養育費に関する取り決めの有無/方法(調停、口頭など)
問14-1-3 問12-1-3	約束どおり履行されているか		問14-1-3	約束どおり履行されているか
	「2. いいえ」と回答した人に			「2. いいえ」と回答した人に
問14-1-4 問12-1-4	養育費をもらっていない理由		問14-1-4	養育費をもらっていない理由
問14-2 問12-2	子どもと相手方との面会等の状況	回答項目1・2・6を選択した場合は、問12-3「面会交流に関する取り決めの有無/方法」の設問へ導く。 また、回答項目3~5を選択した場合は、問12-2-1「相手方と会っていない理由」の設問へ導く。	問14-2	子どもと相手方との面会等の状況
	「1. 子どもだけ相手方と会う」「2. 子と自分が一緒に会う」と回答した人に			「1. 子どもだけ相手方と会う」「2. 子と自分が一緒に会う」と回答した人に
問14-2-1	子どもが相手方と会う場所	【削除】既に相手方と会っている人に対して、支援策を講じることは難しいため、削除。	問14-2-1	子どもが相手方と会う場所
	問12-2で「3」「4」「5」と回答した人に			
問12-2-1	相手方と会っていない理由	【新規】会っていない理由が、「場所」なのか「人」なのかを把握するため、設問を追加。		
問14-3 問12-3	面会交流に関する取り決めの有無/方法(調停、口頭など)		問14-3	面会交流に関する取り決めの有無/方法(調停、口頭など)
問14-4	相手方と別れるにあたって、相手方に経済的な問題があったか	【削除】施策に反映することが難しいため削除	問14-4	相手方と別れるにあたって、相手方に経済的な問題があったか
問14-5 問12-4	相手方と別れるにあたって、相手方からの暴力や嫌がらせがあったか		問14-5	相手方と別れるにあたって、相手方からの暴力や嫌がらせがあったか

ひとり親家庭アンケート項目 新旧対照表

【資料5 - 2】

平成30年度の調査項目(案)		前回との主な変更内容や、質問の意図	前回（平成25年度）の調査項目	
<b>仕事について</b>			<b>2. 仕事について</b>	
問45	ひとり親になる前、仕事をしていたか	【削除】施策に反映することが難しいため削除。	問15	ひとり親になるまで、仕事をしていたか
	<b>1. はい」と回答した方に</b>			<b>1. はい」と回答した方に</b>
問15-1	雇用形態（自営業／正社員／契約・派遣／パート等）		問15-1	雇用形態（自営業／正社員／契約・派遣／パート等）
問15-2	就業時間等 — 1日の就業時間、1週あたりの就業日、平均的な帰宅時間	【削除】現在の就業状況のみを把握するため、削除する。	問15-2	就業時間等 1日の就業時間、1週あたりの就業日、平均的な帰宅時間
問15-3	転職希望の有無		問15-3	転職希望の有無
問15-4	ひとり親になった後、転職したか／その理由		問15-4	ひとり親になった後、転職したか／その理由
	<b>「2. いいえ」と回答した方に</b>			<b>「2. いいえ」と回答した方に</b>
問15-5	ひとり親になる前、仕事をしていなかった理由	【削除】施策に反映することが難しいため削除。	問15-5	ひとり親になるまでに仕事をしていなかった理由
問46 問13	現在、仕事をしているか		問16	現在、仕事をしているか
	<b>「1. はい」と回答した方に</b>			<b>「1. はい」と回答した方に</b>
問16-1 問13-1	雇用形態（自営業／正社員／契約・派遣／パート等）	設問内の『育休中などの休業中は含みません』を削除。 自営業に『フリーランスを含む』を追加。	問16-1	雇用形態（自営業／正社員／契約・派遣／パート等）
問16-2 問13-2	就業時間等 1日の就業時間、1週あたりの就業日、平均的な帰宅時間	「就労」を「就業」に変更 設問内の『育休中などの休業中は含みません』を削除。 ダブルワーク等の人やシフト勤務の場合の記入方法を追加。	問16-2	就業時間等 1日の就業時間、1週あたりの就業日、平均的な帰宅時間
問16-3 問13-3	通勤時間	ダブルワーク等の場合の記入方法を追加。 回答項目5「2時間超」は前回調査で0.4%だったため、回答項目より削除。	問16-3	通勤時間
問47 問13-4	ひとり親になったことをきっかけに、仕事をはじめた方、転職をされた方が仕事を探した時の情報源	就業継続されている方もいるので、設問を、「ひとり親になったことをきっかけに、仕事をはじめた方、転職をされた方にお伺いします。」に変更。 「7. 世田谷区産業振興公社の相談窓口」を「三茶おしごとカフェ」の相談窓口に変更 正確な情報を得るため、現在の仕事についてどのように情報を得たのかを問う内容に変更する。	問17	仕事を探す時の情報源
問48 問13-5	現在の仕事を選んだ時の優先事項	正確な情報を得るため、現在の仕事を選んだ時の優先事項について問う内容に変更する。	問18	仕事を選ぶ時の優先事項
問16-4 問13-6	現在の仕事を今後も続けたいか	問16-4-1「転職したい理由」の設問を削除するため、回答項目2「できれば転職したい」と回答した場合は、問14「新たに仕事を始めるときに必要な支援」へ導く。	問16-4	現在の仕事を今後も続けたいか
	<b>「2.できれば転職したい」と回答した方に</b>			<b>「2.できれば転職したい」と回答した方に</b>
問16-4-1	転職したい理由	【削除】問13-5「現在の仕事を選んだ時の優先事項」と重複する内容のため、削除。	問16-4-1	転職したい理由
	<b>「2. いいえ」と回答した人に</b>			
問16-5 問13-7	現在の状況（就職活動中、病気療養中など）		問16-5	現在の状況（就職活動中、病気療養中など）
問16-6 問13-8	今後、希望する就業状況 雇用形態（自営業／正社員／契約・派遣／パート等／就業を希望せず）	「就労」を「就業」に変更	問16-6	今後、希望する就業状況 雇用形態（自営業／正社員／契約・派遣／パート等／就業を希望せず）
問16-6-1	希望する就業時間等 — 1日の就業時間、1週あたりの就業日、平均的な帰宅時間	【削除】データを施策に反映できないため削除。	問16-6-1	希望する就業時間等 1日の就業時間、1週あたりの就業日、平均的な帰宅時間
	問13-6の「2.できれば転職したい」、または問13-8の「1～5(自営業／正社員／契約・派遣／パート等)」と回答した方に			
問49 問14	新たに仕事を始めるときに必要な支援	回答項目に「必要だと感じる支援はない」を追加。 回答項目に「今後の子育てと暮らしと仕事のことをあなたと一緒に考えてくれること」を追加。	問19	新たに仕事を始めるときに必要な支援
問20 問15	最終学歴		問20	最終学歴

ひとり親家庭アンケート項目 新旧対照表

【資料5 - 2】

平成30年度の調査項目(案)		前回との主な変更内容や、質問の意図	前回（平成25年度）の調査項目	
問24	仕事に役立つ資格や技術を持っているか	【削除】次設問にて、現在所持している資格や技術を問うため。	問21	仕事に役立つ資格や技術を持っているか
	「1. はい」と回答した方に			「1. はい」と回答した方に
問16 問24-4	現在所持している資格とこれから取得したい資格や技術（選択肢より4つまで選択し、数字で回答）	25年度調査の問21、21-1、21-4の設問を一つにまとめて問う形式に変更。回答項目に「歯科衛生士」と「製菓衛生師」を追加（製菓衛生師は調理師と同回答項目）。28年4月の当該事業の要綱改正において、対象資格として追加されたため。「宅地建物取引士」に修正（27年4月1日より資格名変更となったため。）「ホームヘルパー(1級/2級/3級)」を「実務者研修(旧ホームヘルパー1級)」「介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)」に修正（3級は21年に廃止となったため、削除（その他に記入してもらう）回答項目を見直し、高等職業訓練の対象資格・教育訓練給付金事業で申し込みの多い資格を中心に再構成。ケアマネージャー・ファイナンシャルプランナー・インテリアコーディネーター・外国語関係を削除。実務者研修・介護職員初任者研修を一つにまとめ、～研修課程修了を追加した。	問21-1	所持している資格や技術
問24-2	現在の仕事に最も役立っている資格は何か。（仕事をしていない場合、これから活かしていきたい資格）	【削除】30年度調査(案)問16にまとめて問う形式に変更するため削除。	問21-2	現在の仕事に最も役立っている資格は何か。（仕事をしていない場合、これから活かしていきたい資格）
問24-3	取得の時期（ひとり親になる前/後）	【削除】施策に反映することが難しいため削除	問21-3	取得の時期（ひとり親になる前/後）
問24-4	（全員に）これから取得したい資格	【削除】30年度調査(案)問16にまとめて問う形式に変更するため削除。	問21-4	（全員に）これから取得したい資格
<b>経済状況について</b>			<b>3. 経済状況について</b>	
問22 問17	現在、どんな収入等で生計を立てているか。収入等のうち、大きな割合を占めるものは何か。（選択肢より割合の高い順に5つ選択し、数字で回答）	25年度調査の問22・23の設問を一つにまとめ、割合の高い順に回答する形式に変更。回答項目のうち、事業名が新たになっているものを変更（高等技能訓練促進費等「高等職業訓練促進給付金等」、母子福祉資金「母子・父子福祉資金」）回答項目10「親等からの支援」を「親・兄弟姉妹からの支援」に変更	問22	現在、どんな収入等で生計を立てているか
問23	収入等の内、大きな割合を占めるものは何か	【削除】前の設問とまとめて問う形式に変更。	問23	収入等の内、大きな割合を占めるものは何か
問24 問18	年間の世帯の総収入額と、年間の総収入額のうち、就労収入額（選択肢よりそれぞれ1つ選択し、数字で回答）	25年度調査の問24・25の設問を一つにまとめ、それぞれ選択肢より1つ回答する形式に変更。設問内の手当を具体的な名称（児童手当・児童扶養手当）に変更。設問内に「税込」の表記を追加。	問24	年間の世帯の総収入額
問25	年間の総収入額のうち、就労収入額	【削除】前の設問とまとめて問う形式に変更。	問25	年間の総収入額のうち、就労収入額
問26 問19	家計の中で多くを占める費用、もっとお金をかけたいと思う費用（選択肢より割合の高い順に選択し、数字で回答）	設問内容を「家計を圧迫している」「家計の中で多くを占める」に変更。また、「もっとお金をかけたいと思う費用」を問う内容を追加。25年度調査の問26・26-1の設問を一つにまとめ、割合の高い順に数字で回答する形式に変更。	問26	家計を圧迫している支出費目
	「4. 育児費・教育費」と回答した方に			「4. 育児費・教育費」と回答した方に
問26-1	育児費・教育費のうち最も負担の大きいもの	【削除】前の設問とまとめて問う形式に変更。	問26-1	育児費・教育費のうち最も負担の大きいもの



ひとり親家庭アンケート項目 新旧対照表

【資料5 - 2】

平成30年度の調査項目(案)		前回との主な変更内容や、質問の意図	前回（平成25年度）の調査項目	
<b>子育てについて</b>			<b>4. 子育てについて</b>	
問20	【再掲】 子どもの性別、同居・別居、年齢、学齢（解答欄は第5子第4子+自由記入）、出席状況、学校の種類	【再掲】 「家族の状況、生活について」項目から「子育てについて」の項目に移動。設問に、同居以外の子どもについて、また、18歳以上の未婚の子どもについての記載を追記。 年齢の回答項目に、同居・別居を追加。 学齢・在籍状況等の回答項目に、「フリースクール」、「大学生」を追加。 また、回答欄に「出席状況」、「学校の種類」の回答項目を追加。  解答欄は第4子までに変更。 (25年度調査の回答者数 4人)	再掲 問8	子どもの性別、年齢、学齢（解答欄は第5子+自由記入）
	<b>就学前のお子さんが居る方に</b>		問27	<b>就学前のお子さんが居る方に</b>
問21	お子さんの定期的な預け先	25年度調査において、二重保育に関する回答は1~2%だったため、回答項目より削除。	問27-1	お子さんの定期的な預け先
問27-2	定期的ではなく必要に応じてお子さんを預けている所	【削除】子育てニーズ調査で類似した設問があるため、ひとり親の調査からは削除。	問27-2	定期的ではなく必要に応じてお子さんを預けている所
問28	<b>就学前のお子さんまたは小学校1~3年生のお子さんがいる方に</b>		問28	<b>就学前のお子さんまたは小学校1~3年生のお子さんがいる方に</b>
問28-1	子どもが病気の時、世話をどうしているか ——自分が仕事を休む……など	【削除】子育てニーズ調査で類似した設問があるため、ひとり親の調査からは削除。	問28-1	子どもが病気の時、世話をどうしているか ——自分が仕事を休む……など
問28-2	自分が病気で子どもの世話が出来ない時、どうしているか	【削除】子育てニーズ調査で類似した設問があるため、ひとり親の調査からは削除。	問28-2	自分が病気で子どもの世話が出来ない時、どうしているか
問29 問22	<b>小学生~中学生のお子さんがある方に</b>	問20とのクロス集計が可能であることから、小学生~中学生のお子さんとした。	問29	<b>小学生のお子さんがある方に</b>
問29-1 問22-1	放課後の過ごし場所	25年度調査の問29-1・29-2の設問を一つにまとめ、選択肢より3つ選んで数字で回答できる形式に変更。 「子どもの生活実態調査」問49と比較できるように、類似した回答項目に修正。また、前回回答率が低かった「本屋」を削除する。	問29-1	放課後の過ごし場所
問29-2	夏休みなどの長期休暇中の過ごし場所	【削除】前の設問とまとめて問う形式に変更。	問29-2	夏休みなどの長期休暇中の過ごし場所
問22-2	平日、子どもが朝ごはんを食べている頻度	【新規】子どもの孤食（個食）の状況把握のため。 「子どもの生活実態調査（子ども向け）」問22~24と比較できるように、同項目で追加。 (回答項目「家族以外の人」は「6.その他」で吸収するため、掲載せず)		
問22-3	平日、子どもが誰と朝ごはんを食べているか			
問22-4	平日、子どもが夕ごはんを食べている頻度			
問22-5	平日、子どもが誰と夕ごはんを食べているか			
問29-3	学校や塾以外の学習時間（学校・塾がある日/無い日、分からない）	【削除】学校・塾がある日/ない日の平均時間に差がなく、数値として施策検討の参考にならなかったため。 子どもの生活実態調査と同様の設問を入れてみるとより具体的に見えてくるものがあるという意見を反映し、次の設問を新規追加。	問29-3	学校や塾以外の学習時間（学校・塾がある日/無い日、分からない）
問22-6	普段（月~金曜）学校の授業以外の1日あたりの勉強時間（塾の時間含む）	【新規】25年度調査の問29-3を削除し、子どもの生活実態調査と同様の設問を追加。		
問29-4 問29-3	4日の中での、子どもとのコミュニケーションの充足感 ——（コミュニケーションをとっている/とっていない/その他）	【削除】子どもの生活実態調査と同様の設問を追加するほうがより具体的に見えてくるものがあるという意見を受け、設問を削除し、次設問を追加。	問29-4	1日の中での、子どもとのコミュニケーションの充足感
問22-7	子どもと次のようなことをすることがあるか （「子どもの勉強を見る/一緒に料理をする」など9項目。 5件法（ほぼ毎日~めったにない）で回答）	【新規】25年度調査の問29-4を削除し、子どもの生活実態調査と同様の設問を追加。各設問を得点化し、尺度をはかる手法にする。		
問30	<b>中学卒業後のお子さんがある方に</b> 高校または高等専門学校への進学、通学状況について	【削除】問20に同様の設問を追加した。	問30	<b>中学卒業後のお子さんがある方に</b> 高校または高等専門学校への進学、通学状況について。
	<b>「3.進学したが、休学・退学した」「4.進学しなかった」と回答した方に</b>	【削除】他の設問をクロス集計することで把握できるため削除。		<b>問30の「3.進学したが、休学・退学した」「4.進学しなかった」と回答した方に</b>
問30-1	どんな理由や事情からか【自由記述】 ——例:学費の負担が大きかった	【削除】他の設問をクロス集計することで把握できるため削除。	問30-1	どんな理由や事情からか【自由記述】 例:学費の負担が大きかった
	<b>すべての方に</b>			<b>すべての方に</b>
問31	自分以外に子どもが頼りに出来る大人	【削除】子ども本人に聞かないと分からない内容であるため削除。	問31	自分以外に子どもが頼りに出来る大人
問32	ひとり親になった頃の心配ごとや悩みごと	【削除】30年度調査(案)の問10と問23をクロス検索することで、ひとり親になった直後の心配事・悩み事なのかどうか把握することが出来るため。	問32	ひとり親になった頃の心配ごとや悩みごと

ひとり親家庭アンケート項目 新旧対照表

【資料5 - 2】

平成30年度の調査項目(案)		前回との主な変更内容や、質問の意図	前回（平成25年度）の調査項目	
問33 問23	現在の、心配ごとや悩みごと	回答項目に「10恋愛」、「11親等の介護」、「21(住宅を借りる際の)保証人がいないこと」、「24子どもを虐待してしまうことへの懸念」を追加。  ひとり親になってからの年数、子どもの年齢・人数等のクロス集計することにより、必要な支援の検討を行うことができると考えている。	問33	現在の、心配ごとや悩みごと
問24	子どもの健康・発達の状況	【新規】ひとり親家庭の現状を把握するため、新規追加する。		
問24-1	あなたの現在の健康状態等	【新規】子どもの発達・障害に関する設問の追加に併せて、親の健康について問う設問を新規追加する。		
問24-2	成人前の体験	【新規】ひとり親家族の母または父の生育歴を把握するため、「子どもの生活実態調査(保護者向け)」を参考に設問を追加。貧困の連鎖への対応や支援窓口の実践に反映できると考える。		
問24-3	過去1年間に、子どもを病院や歯医者で受診させた方が良かったが実際には受診できなかったことがあったか	【新規】ひとり親家庭の現状を把握するため、調査項目に新規追加する。		
	「1.受診できなかったことがあった」と答えた方に			
問24-4	受診できなかった理由	【新規】ひとり親家庭の現状を把握するため、調査項目に新規追加する。		
問34 問25	今、自分のことをどう思っているか		問34	今、自分のことをどう思っているか
	自分のことが好きだと思う		問34-1	自分のことが好きだと思う
	自分は他の人から必要とされていると思う		問34-2	自分は他の人から必要とされていると思う
	自分のことをわかってくれる人がいると思う		問34-3	自分のことをわかってくれる人がいると思う
<b>相談支援について</b>		<b>【新規】項目新設</b>		
問35 問26	心配ごとや悩みごとがある時の相談先	【削除】チャンネルの種類ではなく、どうしたら他者に繋がるようにできるのかを明らかにするため、この設問は削除する。	問35	心配ごとや悩みごとがある時の相談先
問26	周囲の人との関わり方	【新規】つながるチャンネルではなく、「つながる力」「意欲」をはかるため、設問を新規追加する。		
問27	ひとり親家庭になる前後での相談先	【新規】「ひとり親家庭になる前後」という大きなライフイベントがあったときに受容された経験があるかどうかを問う設問を追加(受容された経験があれば、その後支援に繋がっていくケースが多い) 回答項目に「7.ひとり親家庭の支援団体」、「10.養育費相談支援センター等の専門職員」、「11.弁護士や法テラス等の専門職員」を追加。		
問28	ひとり親家庭になる前後、自分や子どものことを専門職に相談した時に次のようなことを経験したことがあるか(5件法)(あなたのペースを大切に話を聞いてくれた/相手から一方的に色々話をされた等)	【新規】相談を「どのように聞いてもらったか」を図るため、設問追加する。		
問36 問28-1	これまで「相談したくてもできなかった」ということはあるか、その理由	設問に「これまで」を追加	問36	「相談したくてもできなかった」ということはあるか、その理由
問37 問29	保健福祉センター生活支援課(子ども家庭支援センター)を知っているか	「保健福祉センター」を追記	問37	生活支援課(子ども家庭支援センター)を知っているか
問38 問30	保健福祉センター生活支援課(子ども家庭支援センター)窓口の利用経験	「保健福祉センター」を追記	問38	生活支援課(子ども家庭支援センター)窓口の利用経験
	「2.ない」と回答した人に			
問30-1	相談したことがない理由	【新規】子ども家庭支援センターへ相談したことがない理由を把握するため、設問を新規追加。 回答項目に「相談する窓口や方法が分からなかった」を追加。		
問30-2	区の窓口への意見	【新規】区の窓口を改善することで利用しやすくなるのか把握するため、設問を新規追加。 回答項目に「同行してくる人がいる」を追加。		
問39 問31	ひとり親の方への支援策等について 各事業の認知度(知っている事業を回答)	25年度調査の問39-1のみを問う設問に変更。 (3択ではなく、「知っているかどうか」が明らかになる回答形式に変更) 事業の認知度を問う設問のみにしたため、『ステップファミリー』は削除。 新規事業を追加し、事業名が新たになっているものは変更。 新規事業等 6ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 13子どもの居場所(せたがやゼミナール) 18ひとり親支援ナビ(チラシ) 19養育費相談会 22地域子育て支援コーディネーター(利用者支援事業) 25らぶらすのシングルマザーのほっとサロン 27ぶらっとホーム世田谷 母子生活支援施設を追加。	問39	ひとり親の方への支援策等について

ひとり親家庭アンケート項目 新旧対照表

【資料5 - 2】

平成30年度の調査項目(案)		前回との主な変更内容や、質問の意図	前回（平成25年度）の調査項目	
問39-1	各事業の認知度（知っている／知らない／無回答）	【削除】25年度調査の問39-1（事業の認知度）のみを問う設問に変更するため、削除。	問39-1	各事業の認知度（知っている／知らない／無回答）
問39-2	各事業の利用経験と有用度。 （マウス評価の場合）その理由【自由記述】	【削除】25年度調査の問39-1（事業の認知度）のみを問う設問に変更するため、削除。	問39-2	各事業の利用経験と有用度。 （マウス評価の場合）その理由【自由記述】
問39-3	今後の利用希望。 （希望しない場合）その理由【自由記述】		問39-3	今後の利用希望。 （希望しない場合）その理由【自由記述】
問32	支援情報を入手する手段	【新規】ひとり親家庭支援の情報の入手方法を問うため。 （「子どもの生活実態調査（保護者向け）」問48とも比較できるため） 回答項目に「7.ひとり親家庭の支援団体」を追加		
問32-1	各種支援制度への関心の有無	【新規】「子どもの生活実態調査（保護者向け）」問49-1と比較できるため。 （同調査で回答項目に入れられなかった「弁当配食サービス」の関心の有無を調べるため）		
問40	これから、どのような人との関わりの中で子育てをしていきたいか	【削除】30年度調査項目(案)の問27と内容が重複するため、削除する。	問40	これから、どのような人との関わりの中で子育てをしていきたいか
問44 問33	その他、悩みや不安、必要と感じる支援等【自由記述】		問41	その他、悩みや不安、必要と感じる支援等【自由記述】
<b>女性の方に、母子生活支援施設について</b>			<b>5. 女性の方に、母子生活支援施設について</b>	
問42	区内母子生活支援施設の認知度（知っている／知らない）	【削除】量的調査ではなく、質的調査で聞く内容のため、削除。	問42	区内母子生活支援施設の認知度（知っている／知らない）
問42-1	（知っていると答えた方のみ）利用経験の有無		問42-1	（知っていると答えた方のみ） 利用経験の有無
問42-1-1	（利用経験ありの方のみ）有用感		問42-1-1	（利用経験ありの方のみ）有用感
問42-1-2	（利用経験無しの方のみ）利用しない（しなかった）理由		問42-1-2	（利用経験無しの方のみ）利用しない（しなかった）理由